

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	旅券事務に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	3	1	
政策	計画の実現のために	担当課室	市民課			
施策	効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	鈴木 由美			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	旅券の申請、交付業務について、職員研修を積極的に行い、事務処理の正確性、迅速性を向上させ、市民がよりスムーズに旅券の申請を行えるようにする。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	オンライン申請も含め、市民が旅券を申請しやすい環境を検証するとともに、多くの申請があっても事務処理の正確性を保ち、不正取得等がないように事例研究を行い、職員のスキルを向上させる。
②①に基づく取組み結果	国や県からの受付における注意事項をまとめた通知を読み込み、旅券の専門的な事務処理能力の向上を図り、滞りなく対応することができた。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民、市内居住者 県内住民登録者	意図(対象をどうするのか)	市役所窓口で旅券の申請、受け取りを行う
②事務事業の概要	鎌ヶ谷市民だけでなく、県内在住者も含め、旅券の申請受理、交付を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	以前は千葉県窓口で行っていた旅券の申請が身近な市役所で行えるようになったので、コロナ収束後は一定件数の申請が見込まれる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	コロナによる渡航制限という影響があったが、引き続き市民にとって旅券を申請しやすい環境を作り、更新等の旅費申請が688件あった。						
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	算定根拠
	i	旅券申請件数	2,424	5,046	688	件	申請数累計
	ii	旅券交付件数	2,087	5,087	850	件	交付数累計
	iii						
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算	
事業費(千円)	79,952	6,105	金額(千円)	内容		54,373	
国支出金(千円)	0	0	6,105	会計年度任用職員報酬		0	
県支出金(千円)	5,997	6,105				4,823	
市債その他(千円)	57,593	0				47,910	
一般財源(千円)	16,362	0				54,373	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	旅券申請が身近な市役所で行えるようになったが、今後オンライン申請の導入等により、さらに市民の利便性向上を図る。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	国のデジタル化によりオンライン申請の導入や、申請時の出頭時回数の削減などが予定されていることから、さらに市民の利便性向上が可能となる。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	令和2年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	R1からの繰越	
		R1⇒R2繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由			流用・充当			
	令和3年度への繰越額(単位:千円)					

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	住民票等コンビニ交付導入事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	3	1	○
政策	計画の実現のために	担当課室	市民課			
施策	効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	鈴木 由美			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	システムを正常に稼働させ、コンビニにおける交付を安定的に行い、市民の利便性の向上を図る。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	引き続きシステムを正常に稼働させ、コンビニにおける交付を安定的に行い、市民の利便性の向上を図る。
②①に基づく取組み結果	システムを正常に稼働させ、コンビニにおける交付を安定的に行い、市民の利便性の向上が達成できた。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	各種証明書	意図(対象をどうするのか)	取得場所及び取得時間の拡充
②事務事業の概要	マイナンバーカード所有者に対して、各種証明書のコンビニ交付を実施する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	安定的な運営			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	交付場所、交付時間の拡充により、市民サービスの向上が実現できた。					
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	算定根拠
	i	交付場所	19	約54,000	約54,000	コンビニキオスク端末数
	ii	交付時間	11, 5	16, 5	16, 5	コンビニ交付対応時間
	iii					
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算
事業費(千円)	17,379	9,508	金額(千円)	内容		0
国支出金(千円)			6,138	交付システム		
県支出金(千円)			2,728	システム機構負担金		
市債その他(千円)			381	手数料		
一般財源(千円)	17,379	9,508				

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	交付にはマイナンバーカードが必要であり、普及率の向上を促進する。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	1終了
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	導入事業が完了し市民サービスの向上を達成したが、引き続き安定的な運用を要するため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	コンビニ交付導入	令和2年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額			決算額		
②計画に対する事業実績	コンビニ交付導入事業完了	9,733	9,733	当初	9,733	9,508	R1からの繰越	0
				R1⇒R2繰越	0		現年分	9,508
③達成状況	完了			補正	0			
④未完了・非着手の理由					流用・充当	0		
		令和3年度への繰越額(単位:千円)						0